横浜市立山田小学校　　令和４年９月３０日

学校だより

１０月号　　第４３０号

教育目標 ： 自分がすき　友だちがすき　まちがすき　進んで学ぶ　山田の子

http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yamata/

学びの可能性を広げていきます

校長　金　森　孝　子

９月中旬、３年生の教室では、大型テレビに映った iPad の画像を真剣に見ながら、自分の iPad の作業に取り組んでいます。子どもたちは担任から一人ひとりメモをもらい、自分の iPad に数字を打ち込んでいました。私が教室に入ってきたことに気付いた子が、私の耳元でささやきます。「校長先生、私の番号は〇〇〇〇。」「しっかり頭の中にメモしてね。でも私にも教えちゃだめだよ、秘密の番号だから。」子どもたちはＩCT 支援員の横山颯亮先生に手伝ってもらいながら、パスコードと指紋を認証させる作業に取り組んでいたのです。誰もが慎重に、そしてとても嬉しそうに作業を進めていました。

９月下旬、５年生のクラスでは、国語「たずねびと」の学習で、ロイロノートを用いて考えたことを共有していました。「登場人物の心情の変化はどの場面で起こったのだろう」という問いに、子どもたちは場面の展開を確認し、登場人物の前に現れた「もの」や「人」に着目しながら、心情が変化したと考えた場面に根拠や理由をまとめたカードを貼り付ける操作をしています。友達のカードにヒントを得ながら、自分の考えをまとめていく子どももいます。物語の全体像をとらえる学習として、作業を容易に行える iPad を用いた取組に、学習の広がりと可能性を感じました。

山田小学校は、９月から「端末持ち帰り試行校」として、学校と家庭が連携して ICT 教育を進めていくことになりました。子どもたちが端末を文房具のように扱うこと、アプリを活用して基礎基本を定着させていくこと、授業と家庭学習がつながることでの相乗的な効果、個に合った多様な方法での表現など、進捗を確認しながらよりよい活用について模索していきます。また、同時に、登下校時の持ち物の削減にも取り組み、学校で保管しておくもの、家に持ち帰るものを整理し、iPad を毎日持ち帰る仕組みを整えていきます。充電など、ご家庭で協力いただくこともたくさんありますが、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

◇◇◇